

0.8 けい酸カルシウム板 耐火間仕切壁 (非耐力)

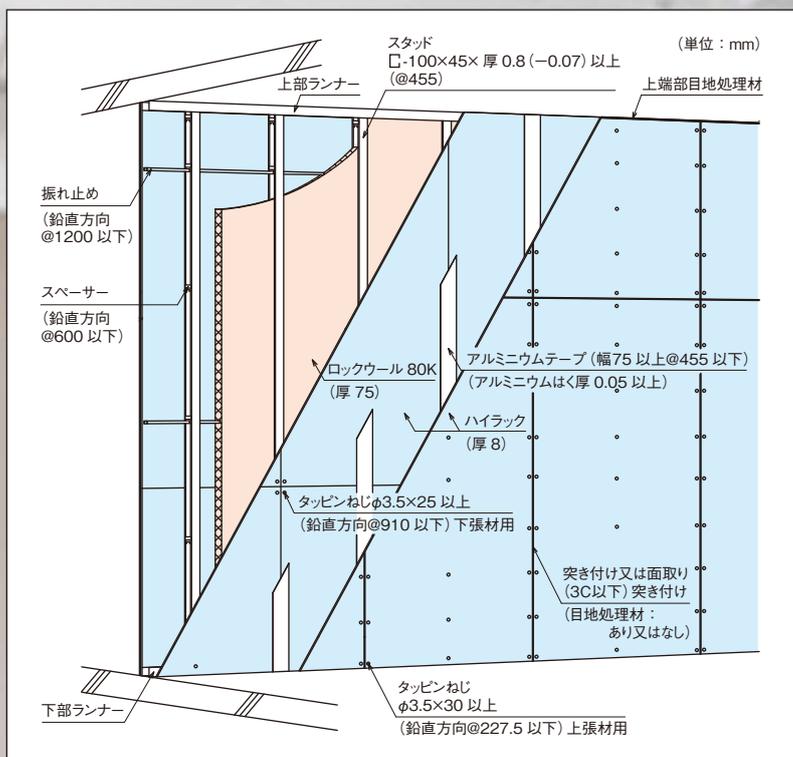
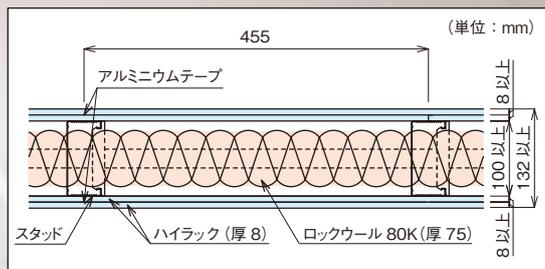
# ハイラック<sup>はち・はち</sup>8・8耐火 (特許出願)

**進化した 耐火1時間 間仕切壁。  
けい酸カルシウム板仕様で〈新登場〉。**

けい酸カルシウム板 (ハイラック) のみで構成された強固な耐火間仕切壁です。接着剤塗布の手間を省き、アルミテープとタッピンねじ留めの簡単工法で、施工性に優れた新工法を実現しました。

## 特長

- ハイラック二重張りの強固な耐火間仕切壁。
- 内装材としては、耐水性に優れた構造。  
(ただし、浴室、サウナは除く)
- アルミテープとタッピンねじ留めの簡単工法。
- 下張材のスタッドの位置にアルミテープを貼ることで火災時のヒートブリッジを低減。
- ロックウールの使用で、さらに断熱性・遮音性が向上。



## 構成材料

(単位: mm)

上張	面材	ハイラック厚 8 以上 (NM-2773)
	留付材	φ3.5×30 以上 (留付間隔: 鉛直方向@227.5 以下、水平方向@455 以下)
下張	面材	ハイラック厚 8 以上 (NM-2773)
	留付材	φ3.5×25 以上 (留付間隔: 鉛直方向@910 以下、水平方向@455 以下)
スタッド	C-100×45×厚 0.8 (-0.07) 以上 (@455) (振れ止め: 鉛直方向@1200 以下、スペーサー: 鉛直方向@600 以下)	
充填材	ロックウール 80K品厚 75 以上 (JIS A 9504、JIS A 6301)	
アルミニウムテープ	厚 0.05 以上、幅 75 以上 (下張材表面のスタッド位置に貼り付け)	
目地処理	突き付け又は面取り突き付け、面取り突き付けの上パテ処理	
上端部処理	①下・上張材突き付けの上、上端部用目地処理材充填 ②下張材目透かしの上、上端部用目地処理材充填+上張材突き付け ③下張材突き付け+上張材目透かしの上、上端部用目地処理材充填 ④下・上張材目透かしの上、上端部用目地処理材充填 ※目透かし幅は 10 以下 ※上端部用目地処理材充填は、シーリング材 (JIS A 5758) 等	

間仕切壁 (非耐力)

- 耐火 1 時間構造認定:

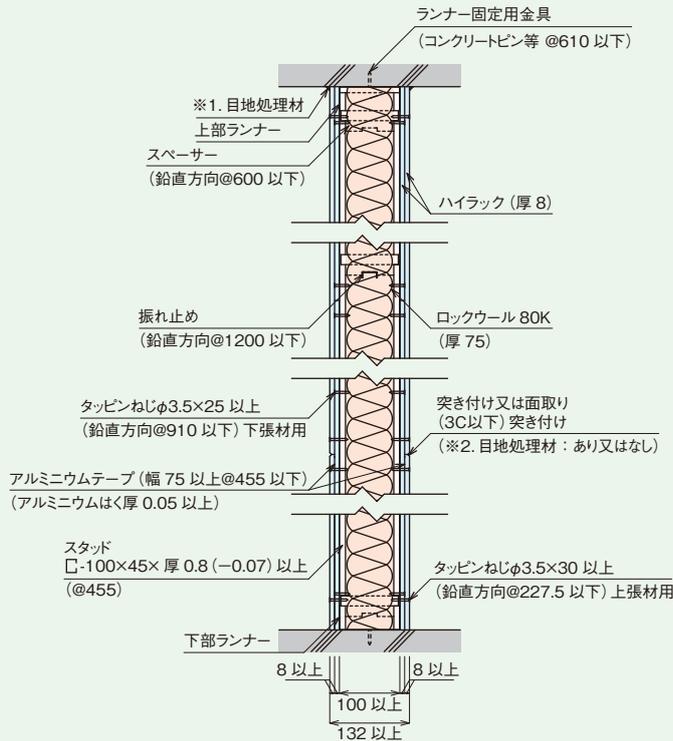
# FP060NP-0382

- 遮音構造認定: 申請中

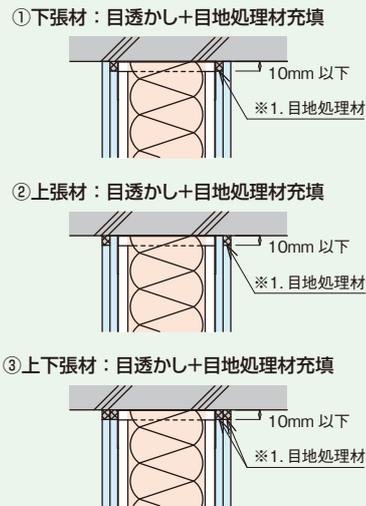
## 標準納まり図

(単位: mm)

### ●鉛直断面詳細図 (上端部突き付け仕様)



### ●鉛直断面詳細図 (上端部突目透かし仕様①~③)

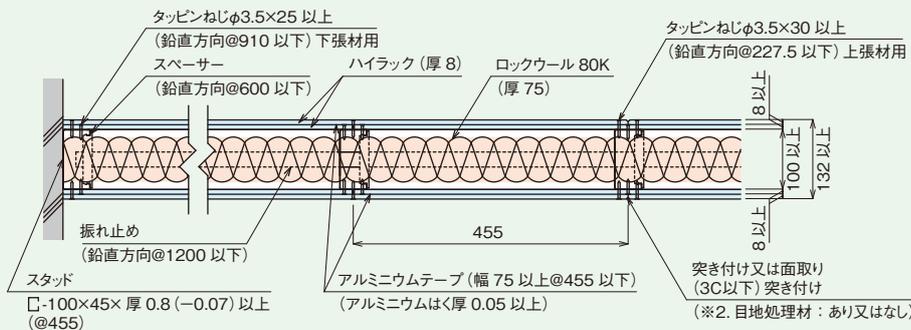


- ※1. (上端部用) 目地処理材種類
- ①シーリング材 (JIS A 5758) アクリル系他
  - ②合成樹脂エマルジョンパテ (JIS K 5669)
  - ③せっこうボード用目地処理材 (JIS A 6914)
- ※2. (上張材用) 目地処理材種類
- ①目地処理材なし
  - ②合成樹脂エマルジョンパテ (JIS K 5669)
  - ③せっこうボード用目地処理材 (JIS A 6914)

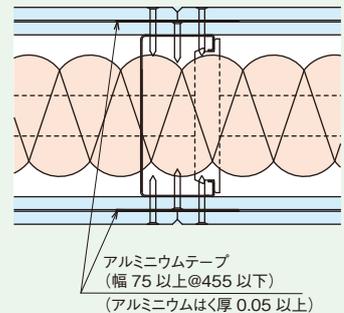
#### 【壁構成材】

上・下張材	ハイラック 厚 8 以上 (NM-2773)
下地仕様	□-100×45×厚 0.8 (-0.07) 以上
充填材	ロックウール 80K品 厚 75 以上

### ●水平断面詳細図



### ●目地部断面詳細図



- ※3. 柱、他材取り合いおよび下部スラブ取り合いについては躯体の不陸等により、隙間が生じた場合は (上端部用) 目地処理材を充填してください。上記取り合い部も、あらかじめ上端部目地処理同様の仕様 (突き付け目地処理材充填または目透かし目地処理材充填) を推奨します。
- ※4. 遮音構造の場合は、四周取り合い部に端部処置材を充填してください。
- ※5. ロックウールをスタッドの中まで充填してください。